

2020年10月9日

北海道エアポート株式会社

国立大学法人小樽商科大学

報道関係各位

北海道エアポート株式会社・小樽商科大学 「道北観光振興」の実現に向けた共同研究を開始 ～産学連携による新しい付加価値を創造～

北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛、以下：HAP）と国立大学法人小樽商科大学（所在：北海道小樽市、学長：穴沢眞）は、道北地域の観光客を増やし、観光産業を中心とした地域活性化に貢献するべく、稚内空港を中心とした道北地域の観光振興に向けた共同研究に着手します。

HAPが大学と連携して、産学連携で地域の観光振興を目指す初の事業です。北海道内7空港を運営するHAPと、地域の観光に精通する研究者を有する小樽商科大学は両方の強みを活かし、稚内空港を中心に道北地域の観光振興を通じ、地域経済の発展・活性化を支援してまいります。

2019年に設立されたHAPは、道内を巡るさまざまな国や地域の観光客が、道内7空港を使い分け、道内全域の多彩な観光資源をそれぞれの好みに合ったテーマで周遊し、北海道の魅力を存分に体感いただける「マルチ・ツーリズムゲートウェイ」の段階的な実現を目指しています。

小樽商科大学は、2022年度に帯広畜産大学、北見工業大学との経営統合を目指しております。統合の柱の一つが、北海道経済・産業発展のための「知の社会実装」推進であり、本件はその実現へ取り組むものです。

また、3大学は経営統合によって研究開発オープンイノベーションを推進すべく、今後は農・工・商の分野横断・融合型研究を観光の分野でも進めてまいります。

今回の共同研究では、道北観光の拠点となる稚内空港を中心とした地域において、HAPと小樽商科大学が調査・研究を実施し、北海道宗谷総合振興局、稚内信用金庫とも協力して、新たな観光需要創出、広域の観光流動の促進に取り組むとともに、稚内空港などへの新規路線誘致を目指します。

※詳しくは添付資料「共同研究の概要」をご参照ください。

※本リリース同時配布先：札幌市政記者クラブ、小樽市政記者クラブ、千歳記者クラブ、稚内記者会、北海道教育庁記者クラブ、北海道経済記者クラブ

共同研究の概要

1. 実態調査の実施

- ▶ 現地での観光に関わる機関からの情報収集により課題を抽出するとともに、各機関との連携・協力を強化し、共同研究による成果（観光振興にかかる施策）の実現を目指します。

2. 観光コンテンツの磨き上げ

- ▶ 道北地域ならではの観光コンテンツをさらに魅力的なものにすべく、地元事業者や関係先と共に問題点・課題の洗い出しから解決策の検討を支援します。

【現在検討している具体的なコンテンツ例】

- ・豊富な自然、登山・トレッキングなどのアクティビティ、ロシア（サハリン）との交流の歴史などを題材とするアドベンチャートラベル
- ・アトピー性皮膚炎の症状改善に効果があることで知られる豊富温泉
- ・小規模学会などのMICE、カーリングなどを題材とするスポーツツーリズム、ワーケーション

3. 道北地域の人材育成を促進する勉強会の開催

- ▶ 観光庁との連携による「観光産業の中核を担う人材育成講座」等に取り組んできた小樽商科大学の社会人向けリカレント教育ノウハウを活かし、道北地区の観光振興に対する関係者の意欲喚起、課題解決に向けた関係機関ネットワーク構築を図るべく、北海道宗谷総合振興局、稚内信用金庫と協力し、勉強会を実施します。

【現在検討している勉強会のテーマ】

アフター・ウィズコロナ、地域連携の取り組み、ガイド育成、二次交通、繁閑対策

4. 研究実施期間

- ▶ 2020年10月1日～2022年3月31日

以上

本件に関するお問い合わせ先

■小樽商科大学

学術情報課 研究支援係

松本 勇、安達陽子 0134-27-5222

■北海道エアポート株式会社

総務・人事部 広報課

0123-46-2990（代表）